

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1514 号

Safety advantage of modified minimally invasive cardiac surgery in pediatric patients

(小児における改良型低侵襲心臓手術の有用性)

中西 啓介 (なかにし けいすけ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、小児における低侵襲心臓手術の中でも、小皮膚切開手術における視野展開方法に工夫を加え、その手術方法の安全性と有用性を後ろ向きに検討した論文である。もともと小皮膚切開手術では、その小さな皮膚切開による手術視野の狭さから安全性が損なわれてしまう可能性があることが懸念されていた。さらには、これまでの小皮膚切開による心臓手術の多くが、特別な道具、技術を必要とし、難易度が高くなるためその技術の体得にはトレーニングが必要であり、未熟な技術による危険性の増大の可能性もあることも懸念として挙げられた。

今回の論文での、新しい手術視野展開方法は特別な道具、技術を必要せず熟練のためのトレーニングは必要ではない。さらには、新しく工夫した手術方法が、通常皮膚切開で行った心臓手術と比較し、手術時間や、周術期の合併症に差異がないことと、従来 of 皮膚小切開手術に比べて手術時間を短くし、出血量を減らすことが可能であったことも明らかにした。今回の論文は、新しく工夫した小皮膚切開心臓手術が、通常皮膚切開手術と比較しても、安全性を確保しつつさらに、出血の減少と創部縮小を得られる有用な方法であったことを明らかにした臨床的に意義のある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。